



長小だより

令和4年3月1日

三月



歴史と伝統のある長久手小学校の バトンを引き継ぐ

日に日に昼間の時間は長くなっていますが、例年にない寒さのため校庭に植えられた梅や桜のつぼみも堅く、暖かな春の訪れはまだ遠いように思われます。今年度4月、全校児童603名、24学級でスタートした長久手小学校は、「確かな学力をもち 心豊かでたくましい 健やかな子の育成」をめざして教職員一同で取り組んで参りました。保護者及び地域の皆様のご理解とご協力により、どの学年の子どもたちも、心身ともに大きく成長し、長久手小学校のよき伝統を積み上げてくれた1年であったと思います。



さて、今年度は新型コロナウイルス感染拡大のため延期された東京オリンピック・パラリンピック、冬季北京オリンピックが続いて開催されました。その晴れの舞台上、様々な種目のトップアスリートが最高の競技や演技をするのを目の当たりにして、心を大きく動かされた方も多いのではないのでしょうか。

その中でも、陸上競技の「リレー」はとても感動的で、魅力のある競技の一つだと思います。バトンを受け取った選手は、前の選手の走りに、不平や不満などを言うことなく、バトンをつないでくれたことに感謝して全力で走ります。そして、バトンを渡した選手は、バトンを手渡した後、次の選手を信じて最後まで応援します。選手同士の心が一つになるのがリレーの感動と魅力です。リレーでバトンをつなぐことは、心をつなぐことと重なるように思います。

3月は学校で、子どもたちが互いにバトンを渡し、渡される、どの学年も一つ上の学年から下の学年へと大きなバトンをつなぐ時期です。5年生は、6年生から最上級生という大きなバトンを引き継ぎます。そのバトンをしっかりと受け取り、学校のリーダーとして全力で取り組み、次につないでいくことが歴史と伝統を積み重ねていきます。

長久手小学校は、このようにして115年もの間、脈々とバトンをつないできました。今年度1年間、輝かしい歴史と伝統のある長久手小学校のバトンをつないでくれた6年生の皆さん、本当にありがとうございました。そして、これからバトンを引き継ぐ5年生の皆さん、これからの活躍を期待しています。また、1年生から4年生の皆さん、それぞれの学年で活躍するとともに、5年生をしっかりと支えてほしいと思います。



最後になりますが、今年度の本校の教育活動を実施するにあたり、保護者及び地域の皆様からのご支援とご助言をいただいたことに、重ねて心より感謝申し上げます。ありがとうございました。次年度、令和4年度も今年度同様、どうぞよろしくお願い致します。

(文責 校長 森田浩基)

○ 学校教育評価アンケートについて

2月に行った学校教育評価アンケートへのご協力ありがとうございました。結果については総括し、後日お知らせします。お忙しい中、ご回答いただきありがとうございました。



○ 6年生「円筒はにわづくり」

5年生も学んだ焼き物体験を6年生も行いました。6年生は古墳時代を彷彿させる手びねりでの埴輪を制作しました。時間いっぱい集中して作成に取り組み、それぞれ個性溢れる作品ができあがりしました。熱心に教えてくださった講師の先生方、ありがとうございました。

